

2021年度 事務局だより

NO1 (通算 NO9)

2021-1-26

一般社団法人
示現会



- 成田理事長・事務局 年頭の言葉
- <特集 1>がんばる仲間にエール
- <特集 2>コロナに負けずに
- 2月の研究会案内

コロナ禍の様相はとどまることがありません。
このような中、2021年を迎えました。
非常に厳しい状況の中ではありますが、示現会全員で力を合わせ、この難局を乗り越えて行こうではありませんか。
新しい年を迎えるにあたり、成田理事長、そして事務局のみなさんのことば、そして写真も載せました。顔を覚えていただき、何かありましたら気楽に声をおかけください。

途切れたプランクではありますが、我々はこれをチャンスとして活かし、今までの慣習にとらわれずに、出来ることは改新して、先に向かつて皆で力を合わせて再始動をしていきたいと思っています。

コロナ禍の中、世の中、当たり前に行われていた様々なことが中止という事態となりました。新年に入ってもまだ先の見えない状態です。残念ながら72年間継続してきた示現会展は中止となりました。

2021年新たな年を迎えるにあたり、この4月には第74回示現会展が開催の予定ですが、その準備に入り、動き出ししております。

理事長
成田 禎介



理事長及び事務局担当者の年頭の言葉

錦織重治 (庶務主任)

示現会展の開催による準備は、各支部共々粛々と進めています。

さて、コロナ禍における感染症の拡大に伴い美術館の開催における制約、その他豪雨災害等も含めた諸々の障害、問題から生ずるストレスは、皆様にとっても予想以上のものがあると拝察いたします。我々絵を描く者が心身の健康を維持するには、制作に集中する、当たり前の日常を取り戻し、それを大切にすることしかないと考えています。それには、何をすべきか各々問うていらいやうと存じます。そこで発表の手段のひとつである公募展という集団的芸術運動体を改めて考えたときに、プロもアマチュアも初心者やベテランも一緒になって絵を描き、鑑賞し、批評し、享受できる場であると思っています。

この場が、我々の作品づくりである環境のひとつである居場所として示現会があります。

また、我々は今、何よりも貴重な時間を共有しているといってもいいのではないのでしょうか。

この場所と時間を更に大切にしたいと思っています。



中西 敦 (庶務副主任)

昨年からはじめた未曾有のコロナ禍に、不安先行で経済活動や生活様式まで変更を余儀なくされました。そして冬季に入り第3波が到来、まだまだ先の予定は立たないものの、ウイルスとの向き合い方も少しずつ学習できて来たようにも思います。

今年はスケッチに出かけようかと、心新たにしています。



安藤義男 (研究所補佐)

研究所は昨年、コロナウイルスの影響で4ヶ月の閉鎖になりました。

モデルを使つての教室は生徒の数を削減し、はがきメール 電話等で連絡を取り最低限の人数を確保して再開しました。

受講生からの提案を参考に、新年度からは2週間まとめ、都合6日間で仕上げる形を取ります。

私自身も機会があればモデルを使った教室に参加し、夏の選抜展に発表したいと思っています。

示現会研究所は1階、3階はアトリエして建てられており天井も高く玄関も広くてロッカーも完備されております。コロナ禍でも十分の対応できる施設です。

「事務局便り」を読まれている皆様に是非とも研究所を活用していただきたく、お願い申し上げます。



新しい年を迎えて

井上 武 (事務責任者)



この原稿を書いている十二月末、首都圏を中心に感染者が日々激増しています。どこまで猛威を奮い続けるか想像できません。我々の日常生活もコロナ以前の常識を根底から変えねばなりません。アフターコロナの新しい様式で、そろそろと歩を進めていかねばなりません。それが、いかに過去のやり方、常識からはずれ一見非常識に見えても、新様式を模索せざるを得ません。目標は唯一、示現会展から感染者を出さないことです。

佐藤祐治 (事務責任者補佐)



コロナ禍の中、自粛生活は、厳しい生活でもありましたが、うれしい発見もありました。日課とした散歩はすぐ近くの森の中を歩くことでした。芽吹き時の陽炎、緑濃いむせ返るにおい、色とりどりの紅葉、道を覆いつくし、足音を楽しませる落ち葉。そして四季折々の風と匂い。改めて季節の移り変わりを知りました。果たして、日常を取り戻せるのか、予断を許さない状況ではありますが、新しい年が始まりました。新しい気持ちで絵筆を持ちたいと思います。

石橋俊博 (会計主任)



2021年に向けて
いろいろなことが変わる年になります。
時代に合わせやり方を変えてみましょう。

人間知識は豊富にありますが、体力が衰えますと動きが悪くなります。新しいことに挑戦する元気がありますか。

世の中どんどん変わっていきます。世の中に合わせて 自分も変わっていくと思います。

いや世の中より一歩前に踏み出して行こうと思います

遠山厚史 (会計副主任)



ステンドグラスと私

昔の話ですが、私はステンドグラスの工房に勤務していたことがあります。仕事は主にパネルの制作とデザインで、当時、制作に関わった作品は今でも都内や全国各地で見かけることがあります。仕事は発見の連続で、多忙な日々を送っていましたが、普通の絵を描きたいという気持ちもうつつと沸き起こり、その後、紆余曲折を経て、美術教師になりました。コロナの猛威は過ぎ去ってくれませんが、「窮乏こそ創造の父」という言葉をかみしめて乗り越えていきたいと念っております。

2月・3月の予定

2月14日(日) リモート研究会
2月16日(火) 会計監査・理事会

3月2日(火) 通常総会

* 今年度の総会は紙上で実施します。

ご注意ください
示現会館での総会はありません。



示規会